

単元	知識・技能	
えにつき	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞「は」、「へ」、及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	・
なつのおもいでをはなそう	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	・
かたかなのことば	片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。	・
けんかした山	- 当該学年に配当されている漢字を読んでいる。 - 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	・
みんなでたのしくよう	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	・
かん字のはじまり	当該学年に配当されている漢字を読んでいる。	
だれが、たべたのでしょうか	- 文の中における主語と述語との関係に気付いている。 - 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	・
たのしかったことをかこう	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞「は」、「へ」、及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	・

かぞえた	・ 当該学年に配当されている漢字を読んでいる。	・
あめのうた	・ 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	・
見つけたよ、いきもののひみつ	・ 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞「は」、「へ」、及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	・
はたらくじどう車	・ 身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っている ・ とともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに 気付き、語彙を豊かにしている。	・ ・
「のりものカード」でしらせよう	・ 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞「は」、「へ」、及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	・
えを見ておはなししよう	・ 身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っている ・ とともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに 気付き、語彙を豊かにしている。	・
日づけとよう日	・ 当該学年に配当されている漢字を読んでいる。	
うみへのながいたび	・ 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	・ ・ ・

		・
きこえてきた よ、こんなこと ば	・ 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞「は」、 「へ」、及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ （「」）の使い方を理解して文や文章の中で使ってい る。	・
天にのぼったお けやさん	・ 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我 が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	・
かたかな	・ 片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を 知り、文や文章の中で使っている。	
かん字のよみ かた	・ 当該学年に配当されている漢字を読んでいる。	

学期【国語】 主な評価規準

江戸川区立第二葛西小学校

思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして絵日記を書こうとしている。
「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	積極的に話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習の見通しをもって質問や感想を言おうとしている。
	積極的に片仮名で書く語の種類を知り、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。
「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって考えたことを発表したり文章にまとめたりしようとしている。
「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	進んで文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、学習の見通しをもって役割を決めて音読しようとしている。
	進んで当該学年に配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。
「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	進んで時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを話そうとしている。
「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	進んで想像したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。
「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	

長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。	進んで言葉遊びに親しみ、学習の見通しをもってリズムよく音読しようとしている。
「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。
「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	積極的に経験したことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。
「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	進んで時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことを説明しようとしている。
「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	
「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	進んで事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「のりものカード」を書こうとしている。
「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。	進んで話題を決め、学習課題に沿って少人数で話し合おうとしている。
	積極的に漢字を読み、学習課題に沿って音読しようとしている。
語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えた言葉を発表しようとしている。
「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	
「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	

「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	
「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	・ 進んで想像したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして簡単なお話を書こうとしている。
「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	・ 進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、学習の見通しをもっておもしろかったところを発表しようとしている。 ・ 積極的に片仮名を読み、見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。 ・ 進んで漢字を読み、今までの学習を生かして使い方によって複数の読み方がある漢字を知ろうとしている。